

学校評価

学校評価項目	肯定的回答		Up	備考
	前期	後期	Down	
自己肯定感	<生徒>			
	「自分にはよいところがある」	77%	73%	-4%
	「先生はよいところを認めてくれている」	86%	89%	3%
	-----			
<保護者>				
「子どもは自分のよいところを知っている」	70%	75%	5%	
「先生はよいところを認めてくれている」	81%	82%	1%	
-----				
<教員>				
「生徒のよいところを認め積極的に信頼関係を構築している」	81%	100%	19%	
夢・目標・挑戦・プロデュース力	<生徒>			
	「将来の夢や学習、生活面での目標がある」	71%	75%	4%
	「将来の夢の実現に向けて必要なことを考え具体的に行動する力が身に付いてきた」	61%	56%	-5%
	「自分で決めたことは最後までやり遂げる」	87%	87%	—
	「難しいことでも恐れず挑戦している」	68%	66%	-2%
	-----			
	<保護者>			
	「お子さんは、自分に必要なことや改善したほうがいいことなどを考え行動するようになった」	51%	54%	3%
	「お子さんは進路について考えたり話したりするなど、将来と向き合う様子が増えてきた」	58%	56%	-2%
	「お子さんと将来のことについてよく話す」	64%	64%	—
	-----			
	<教員>			
	「生徒は夢や目標をもちながら生活できている」	85%	89%	4%
「学習面でのプロデュース力がついてきた」	55%	77%	22%	
「生活面でのプロデュース力がついてきた」	55%	84%	29%	
「生徒は自分で決めたことに粘り強く取り組んでいる」	80%	88%	8%	
「生徒は難しいことでも恐れず積極的にチャレンジする姿がある」	70%	65%	-5%	
他者意識・規範意識	<生徒>			
	「困っている人をみたら進んで声をかけたり助けたりするようにしている」	91%	86%	-5%
	「いじめはどんな理由があってもいけない」	97%	97%	—
	「困ったことや不安がある時は周りの大人や先生にいつも相談できる」	60%	77%	17%
	「友達と協力して学習や行事を行うことは楽しい」	93%	93%	—
	-----			
	<保護者>			
	「学校生活全般を通していじめは絶対にゆるされないという気持ちが育っている」	91%	89%	-2%
「いじめはどんな理由があっても行けないことだと家庭で話している」	96%	92%	-4%	
-----				
<教員>				
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと指導している」	100%	100%	—	

学 習 面	<生 徒> 「自分で計画を立て家庭学習に取り組むことができる」	56%	61%	5%
	「授業では課題解決に向けて自分で考えながら取り組んでいる」	81%	80%	-1%
	「自分の考えが相手に伝わるよう工夫しながら発表している」	79%	78%	-1%
	「授業ではICTを活用した学習をよく行っている」	93%	96%	3%
	「授業は自分に合った教え方・教材・学習時間になっている」	76%	80%	4%
	<保護者> 「お子さんは、進んで勉強に取り組む姿がありますか」	68%	66%	-2%
	「お子さんは学習方法を工夫しながら家庭学習に取り組む様子がありますか」	54%	—	
	<教 員> 「ICTを有効に活用した授業づくりを行っている」	80%	92%	12%
	「生徒が自学自習できる力を育てる工夫を行っている」	100%	73%	-27%
学 校 全 体	<生 徒> 「学校に行くのは楽しいと思う」	78%	80%	2%
	<保護者> 「子どもが、学校生活全般を通して達成感を味わったり、自分の成長を感じ取る様子が見られますか。」	74%	75%	1%
	「学校だよりや各種通信、HPなどを通して情報が発信されている」	90%	91%	1%

#### <学校評価の分析>

##### 「自己肯定感」

- ・「自分にはよいところがある」という項目については全学年で下がる結果となりました。「先生はよいところを認めてくれている」については、2・3年生での評価が高まりましたが、1年生では下がっており、次の2点がその要因として考えられます。
  - ①「自信がもてない」「もっと認めて欲しい」と感じている子どもが増加したこと。
  - ②今までの自分のあり方に疑問をもちはじめ自己評価が厳しくなったこと。

##### 「夢・目標・挑戦・プロデュース力」

- ・ほとんどの項目で80%を下回る結果となっており、昨年度に引き続き課題となっています。
- ・夢や目標をもつ生徒は増加傾向にありますが、実現させるために見通しをもって行動するなどの面で課題となっています。
- ・7月の学校評価で課題となっていた「恐れずチャレンジ」の項目は引き続き課題となっています。

##### 「他者意識・規範意識」

- ・「困った時には周りの大人や先生に相談できる」の項目は、前期と後期を比べて評価が17%アップしました。しかし、80%には到達できず継続課題となっています。それ以外については高い評価となりました。

##### 「学習面」

- ・自分で家庭学習を進めていくなど、自学自習できる力については継続課題とはなっています。しかし後期、2年生で大きく伸びる結果となりました。

##### 「学校全体」

- ・「学校に行くのは楽しいと思う」の結果が80%に到達しました。目標とする100%にはまだまだ届きませんが、生徒が意欲をもって楽しく学校生活を送ることができるようこれからも支援していきます。

◆ 次年度に向けて

後期学校評価の結果などを受け、来年度、「生徒につけさせたい力」について全教職員で話し合いを行いました。その結果、令和5年度の留萌中学校では、次の2つの力について全教育活動で力を入れていきます。

他者意識 人とのつながり  
規範意識 見通しをもつ  
向上心 等

「相手はどう思うかな？」  
「どういう結果になるんだろう？」  
「次は何が必要なんだろう？」



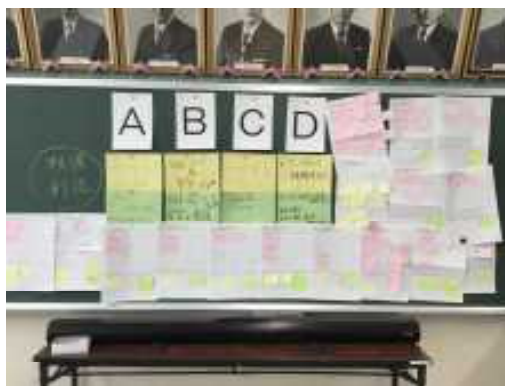
「想像する力」

挑戦する力 受け身な姿勢  
考える前に答えを求めてしまう 等

「調べてみよう！」  
「わかったことをつなぎ合わせてみよう！」  
「どうしたら課題を解決できるだろう？」



「創造する力」



<冬休みに行った話し合いの様子>